

茨城県における両党県連の連絡協議会の設置と次期衆院選対応について

2021年10月6日

立憲民主党茨城県連（郡司彰代表）と国民民主党茨城県連（浅野哲代表）は、現政権の継続が、新型コロナ対策のみならず、日本のあるべき未来への転換にとっても大きな障害となっている状況を打破し、国民の命と暮らしを守る政治へと変えていくために、次期衆院選での勝利が欠かせないとの認識を共有した。

政権交代に挑戦する両党の陣形づくりを茨城県から進めていくため、以下の方針で臨むことを確認する。

1. 茨城県における「連絡協議会」の設置

- ① 両党県連が相互に連携協議する「連絡協議会」を設置する。「連絡協議会」は両党県連の代表、副代表／代表代行、幹事長の合計6名で構成し、両党県連の幹事長が窓口となる。
- ② 両党県連は、この「連絡協議会」を通じて連携と信頼醸成に取り組み、政権の選択肢として県民に理解されるよう、力を合わせていく。

2. 党本部選対委員長間の覚書を踏まえた次期衆院選での対応

- ① 両党の現職議員及び公認内定者がいる小選挙区については、競合候補者擁立を行わず、小選挙区候補者の小選挙区当選に向け、両党は一丸となって戦う。
- ② 非現職の選挙区調整についても、政権与党に利することの無いように取り組みを進める。
- ③ 比例選挙については、両党共通の支援団体の立場や課題も考慮し、政権交代の実現に向けてより一体的に戦いを進める。